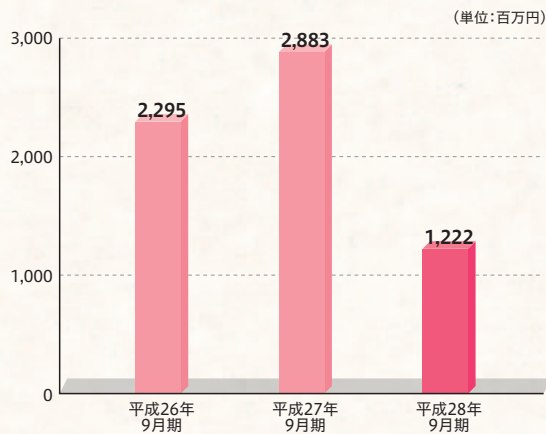


業績ハイライト（単体）

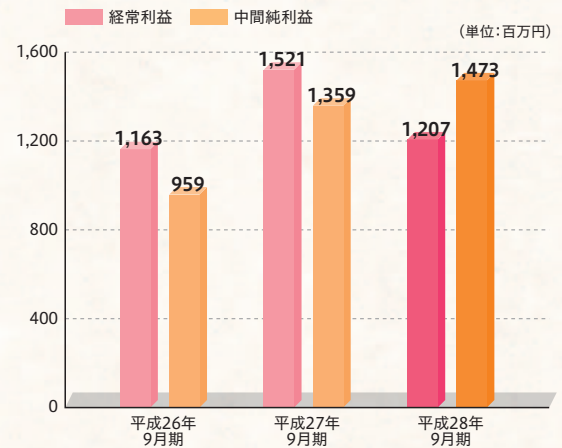
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比16億61百万円減少の12億22百万円となりました。



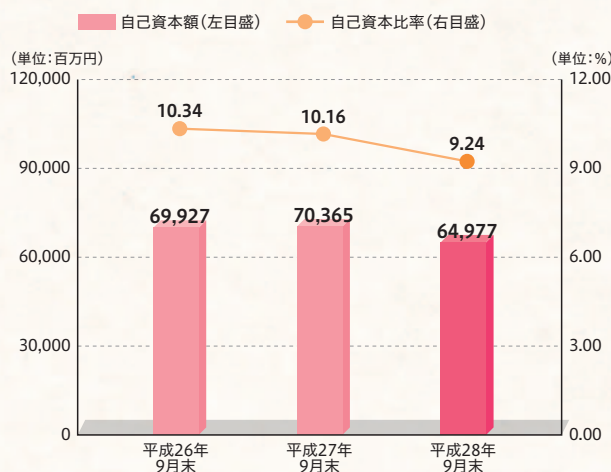
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比3億14百万円減少の12億7百万円、中間純利益は前年同期比1億14百万円増加の14億73百万円となりました。



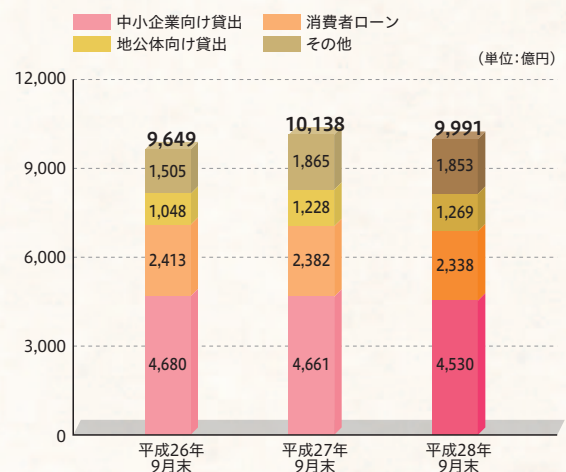
自己資本比率の状況

自己資本比率は、劣後特約付社債等61億円を平成28年3月期に期限前償還したことで自己資本額（分子）が減少したことから、平成27年9月末比0.92ポイント低下の9.24%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、市場性ローンが償還により136億69百万円減少したことなどから、平成27年9月末比146億35百万円減少の9,991億69百万円となりました。中小企業等を含む事業性融資については、ほぼ横ばいとなっておりますが、事業性融資先数は、平成27年9月末比145先増加しております。

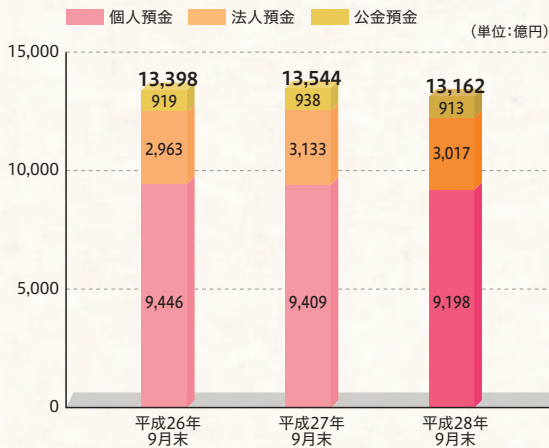


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

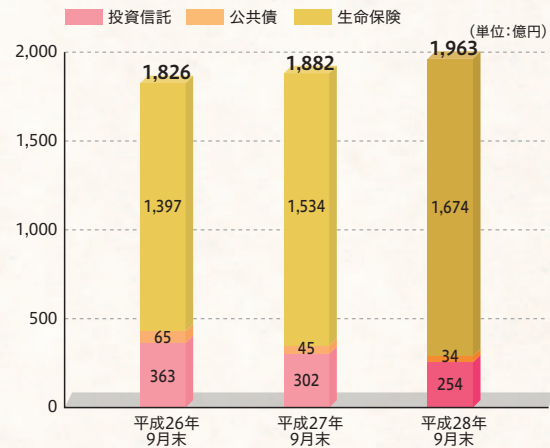
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、平成27年9月末比381億58百万円減少の1兆3,162億44百万円となりました。法人預金は、平成27年9月末比116億33百万円減少の3,017億14百万円となりましたが、平均残高は前年同期比93億11百万円増加の2,943億56百万円となりました。



預かり資産の状況

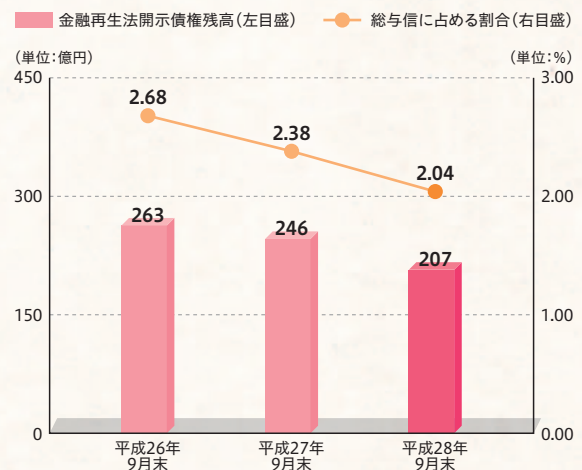
預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成27年9月末比80億94百万円増加の1,963億72百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年9月末比38億40百万円減少の207億82百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成27年9月末比0.34ポイント低下の2.04%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。